

第6次小山市行政改革大綱実施計画 進捗状況調査

No.	取組項目			担当課・担当係	取組番号	区分			
69	公共下水道普及率の向上			下水道課	2-4-2-004	継続			
基本方針	分権時代に対応した人材育成と持続可能な財政運営	大項目	公共施設等マネジメントの推進	中項目	公共施設等の総合的・計画的な管理				
取組概要	生活環境の改善、公共用水域の水質保全、地域の活力再生の観点から、他の汚水処理施設とも連携・強化を図り、公共下水道未普及地域の早期解消を図る。			達成目標	公共下水道普及率の向上による生活環境改善（平成31年度公共下水道普及率64.3%）	目標年度 H31			
推進計画		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
汚水管の整備	活動計画	●	●	●	●	●			
	実施状況	●	●	●					
指標名		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	累計・最終目標	実績	達成率
行政人口に占める下水道公示済区域内人口の割合（%）	目標値	61.2%	62.0%	62.8%	63.5%	64.3%	64.3%	63.4%	98.6%
	実績値	62.9%	63.5%	63.4%					
年度	P 年次計画・目標		D 実施状況・主な取組内容			C・A 課題及び次年度に向けた改善内容			
H27	生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図りながら効率的に整備を進め、未普及地域の早期解消に努める。		平成27年度は、小山処理区、扶桑処理区、流域関連処理区で約58haを整備している。豪雨災害による影響で次年度に繰り越した工区があるものも、普及率は計画を上回り、進捗状況は良好である。 進捗度 B 計画通り			市街化区域の人口密集地域を優先しながら、地区まちづくり活動に合わせて下水道整備を進めていく予定である。人口減少の社会情勢が大きく変化していることから、実情に応じて効率的かつ適正に対応して事業を進めていく。			
H28	生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図りながら効率的に整備を進め、未普及地域の早期解消に努める。		平成28年度は、小山処理区、扶桑処理区、流域関連処理区で約32haを整備した。昨年度に比べ整備面積は減少したものの、普及率は計画を上回り、進捗状況は良好である。 進捗度 B 計画通り			市街化区域の人口密集地域を優先しながら、地区まちづくり活動に合わせて効率的に下水道整備を進めていく予定である。人口減少社会により情勢が大きく変化していることから、実情に応じて効率的かつ適正に対応して事業を進めていく。			
H29	生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図りながら効率的に整備を進め、未普及地域の早期解消に努める。		平成29年度は、小山処理区、扶桑処理区、流域関連処理区で約35haを整備した。例年通りの未普及改善を行なった。普及率は計画を上回っているものの、下水道処理区域内人口が減少したため、昨年度と比べ普及率の低下となった。 進捗度 B 計画通り			市街化区域の人口密集地域を優先しながら、地区まちづくり事業に合わせて効率的に下水道整備を進めていく。人口減少社会により情勢が大きく変化していることから、実情に応じて効率的かつ適正に対応して事業を進めていく。			
H30	生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図りながら効率的に整備を進め、未普及地域の早期解消に努める。		進捗度						
H31	生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図りながら効率的に整備を進め、未普及地域の早期解消に努める。		進捗度						